

11月は
オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン

「しんどい」が、大きくなる前に。

「何度言っても聞いてくれない」、「また怒鳴ってしまった」と子育てが思うようにいかず、心に余裕がなくなることはありませんか。
そんなときに知ってほしい、子どもとの関わり方のヒントや、一人で悩みを抱え込まないための相談先を紹介します。

私たちにできること

「少し気になる」をそのままにしない

身近な親子の様子が「少し気になる」と感じたら、まずは相談窓口へ。その気付きが、親子を支えるきっかけになります。

気になるサイン

子どもの様子
- □ 不自然な傷やあざがある
- □ 表情が乏しく、元気がない
- □ 夜遅くまで一人でいる など

保護者の様子
- □ 子どものけがの説明が不自然
- □ 小さな子どもを残して外出する
- □ 地域で孤立している など

▼

虐待かも？と思ったら…

いちはやく
189
匿名可能
秘密厳守

児童相談所 全国共通 3桁ダイヤル

※お住まいの地域の児童相談所につながります
※通話料は無料です

地域で考えるきっかけに

ガントリークレーンオレンジライトアップ
11/2（月）～15（日）
日没後～24:00



児童虐待防止啓発グッズを配布
市内スーパー（一部の店舗）の出入り口で、啓発グッズをお配りします▶

子育て中のあなたへ

子どもとの関わり方に悩んだら…

子どもとの関わり方は、少しの工夫で変えられることがあります。うまく伝わらないときや、どう接したらいいか迷ったときは、いつもの関わり方を少し変えてみるのも一つの方法です。

気持ちを聞いてみる



「どうしたかったの？」などと声を掛け、子どもの気持ちに耳を傾けてみましょう。

できたことを褒めてみる



「おもちゃを片付けられたね」など、子どもの行動を具体的に褒めてみましょう。

伝え方を変えてみる



「走らないで」ではなく**「歩こうね」**など、してほしいことを肯定的に伝えてみましょう。

子育てがしんどいと思ったら…

子育てに不安や悩みを感じたときは、一人で抱え込まず、こども家庭センターに相談してください。相談員が話を聞き、一緒に考えながら必要な支援につなげます。

例えば、こんな相談ができます
- ● 子育てがつらい、イライラしてしまう
- ● 子どもにきつく当たってしまう
- ● 家族が育児に協力してくれない
- ● 疲れきって、家事や育児ができない
- ● 子どもへの接し方が分からない など



ご相談ください

こども家庭センター
8:30～17:15（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）

18歳までの子ども・ご家庭の相談
28-6027（こども家庭課内）
28-6182（川之江福祉窓口内）
28-6321（土居福祉窓口内）

妊娠・出産・子育ての相談
28-6054（保健推進課内）

詳しくはこちら▶